



ひらく
ひろがる
はじめる
きりひらく
創設する

松山市立石井北小学校
学校だより 第290号
発行日 令和7年 3月3日
責任者 校長 小笠原 陽二
連絡先 電話 957-6300

考え、話し合い、決めて、実行する力

令和6年度も3月に入り、いよいよ1年間の締めくくりの時期となっています。今年度、本校ではキャッチフレーズを「今をがんばる」として、日々子どもたちの活動を大切に、様々なことにチャレンジすることを大切にしてきました。そして、子どもたちに身に付けてほしい力を「考え、話し合い、決めて、実行する力」とし、授業や活動の中で「対話・コミュニケーション」を重視しました。教室のオープンスペースや座席配置等も適宜変更しながら、対話しやすい場づくりの工夫を重ねてまいりました。

現在、日本の状況は出生数の低下に伴い、OECDの予測では2060年に生産年齢人口が51.1%にまで減少し、加盟国中最下位になると言われています。世界の中で、子どもたちは数学・科学、読解力のトップ学力層は高いにもかかわらず、自己有用感（困難に直面した時、たいてい解決策を見つけることができる）や人生に意義や目的を感じている割合は低い状態です。



【教室の座席を工夫しての対話的な学習】

最近の家庭教育の情報を見ると、SNS上におけるトラブルに頭を悩ませているご家庭が多いようです。オックスフォード大学出版局が選ぶ2024年今年の言葉が「brain rot（脳腐れ）」に決まったとの話題もありますが、ゲームも含めたその使い方や使用時間についての課題が見え隠れします。使用時間の設定等のルール作りとともに、スマホ等を入れる管理ケースやボックスを使い制限しているご家庭もあると聞きます。また、本校でも「早寝・早起き・朝ごはん」を推奨しておりますが、併せて食後の歯磨きの習慣化・生活習慣の確立に取り組んでいます。「噛まずに済む軟食ばかりの成長期の子どもの『咀嚼不足解消』に取り組む必要が」（林裕之：週刊エコノミストより）と言われるように、歯と脳の関係も大切な要素となります。最近では、なかなか朝、起きられずに遅刻を重ねる子どもも少なくありません。ご家庭と協力し、よりよい生活が送れるようにしてまいります。ご協力をお願いいたします。

ご存知の方も多いかとは思いますが、この春の高校入試から「特色入学選抜」が導入されました。従来の推薦入学選抜は廃止となり、受験者がこれまで以上に、自身の学習意欲や興味・関心、又は、得意とする文化・スポーツ活動等を生かした選抜を受けることができるようになりました。募集定員の30%程度の人数となるようです。検査項目には、小論文、面接とともに、集団討論、実技テスト、プレゼンテーションがあり、各高校で定める「アドミッション・ポリシー」に基づき、実施されます。ちなみに松山東高校は、「① 基礎的な学力を有し、旺盛な向学心を持って学び続ける生徒 ② 何事に対しても思いやりと責任を持ち、主体的に取り組む生徒 ③ 三立（学問・部活動・学校行事）をよく理解し、高いレベルで全てに取り組む生徒 ④ 将来についての目的意識を持ち、自らの可能性に挑戦する生徒」、松山工業高校は、「① 工業系分野に強い興味・関心を有し、ものづくりが好きな生徒を求めます ② 探究心にあふれ、創造性に富む生徒を求めます ③ 向上心を持ち、あらゆることに対して自主的、意欲的に取り組める生徒を求めます ④ 基本的生活習慣や規範意識を身に付けようとする生徒を求めます」とありました。人と向き合う対話の力が重要となりそうです。

卒業が目前の6年生も、3年後には多くの生徒が高校入試に向かうこととなります。そのためにも、ICT機器を活用したり、教材を工夫したりして授業改善を行い、「考え、話し合い、決めて、実行する力」をしっかりと育てることができるよう、教職員一同頑張っております。引き続き、本校の教育活動へのご理解・ご協力を重ねてお願い申し上げます。（文責：校長 小笠原 陽二）



【ブレ教科担任制（4,5年生）】

心を一つに取り組んだ「ときめき学習発表会」ひなた部

2月13日に、松山市総合コミュニティセンターカメラホールで行われた「ときめき学習発表会」にひなたの児童が参加しました。発表内容は、ソーラン節とよさこい踊りを組み合わせた「北っ子よっちょれ」です。

まずは、「ソーラン節」を太鼓、鈴、リコーダー、歌、合いの手に分かれて表現しました。ホールに太鼓、鈴、リコーダーの音が響き渡った後に、元気な歌声と合いの手が、演奏を盛り上げました。それぞれのパートの音が重なり合い、力強さを感じました。



次は、4連に分かれ、連ごとに赤、青、黄、緑のハッピーを着て「よっちょれ」を踊りました。曲がかかると、会場から手拍子が沸き起こり、子どもたちの演技を盛り上げてくれました。子どもたちも手拍子の音に負けない大きな声で「ドッコイショ～ドッコイショ～」「ソーラン～ソーラン」と掛け声を掛けました。躍動感あふれる踊りも観客の心を引きつけました。

ひなたの児童は、11月から「ときめき学習発表会」に向けて練習に取り組みました。一人一人が自分の課題に向き合いながら練習しました。一生懸命練習に取り組むことで、だんだん合奏や踊りがそろうようになりました。最後まで、よりよい発表になるように一人一人が努力した成果が本番の発表であったと思います。



発表会後の児童の感想には、「ほめられてうれしかった。」「楽しかった。もっとやりたい。」というような内容が多くありました。友達と一緒に一つの目標に向かって取り組む楽しさを感じることでできた発表会でした。



この第290号が今年度の最終号になります。

今年度も、地域の皆様や関係機関の方々、保護者の皆様方に支えられ、子どもたちは、元気よく活動ができました。

来年度も学校の様子等、学校だより「開」やホームページでお伝えしていきます。

ありがとうございました。

石井北小学校ホームページ
<https://ishiikita-e.esnet.ed.jp>

